

特殊詐欺被害集中対策に係る第3回危機管理対策会議概要

日時：令和5年12月18日（月）午後4時30分～5時30分
場所：吹田市役所 高層棟3階 災害対策本部会議室
出席者：別紙「危機管理対策会議 出席者」のとおり

議題1：本市特殊詐欺被害の状況（資料1）

議題2：特殊詐欺啓発・警戒スペシャルデー（11月、12月）の実施報告（資料2）

議題3：防犯機能付電話設置プロジェクトの報告（資料3）

議題4：特殊詐欺被害防止に資する各部取組進捗一覧（資料4）

議題5：各部からの報告（資料5）

資料1	本市特殊詐欺被害の状況
資料2	特殊詐欺啓発・警戒スペシャルデー（11月、12月）の実施報告
資料3	防犯機能付電話設置プロジェクトの報告
資料4	特殊詐欺被害防止に資する各部取組進捗一覧
資料5	各部からの報告

【議題1～4について】

事務局より現在の特殊詐欺被害の状況や傾向、11月・12月に実施した啓発イベントの結果及び新たに取り組む防犯機能付電話の設置プロジェクト、各部の取組み進捗について、資料1から4に基づき、説明。

（水道事業管理者）

資料1の被害件数等について、地域性や特徴的なことはわかっているのか。

（事務局）

直近の状況は把握していない。警察に確認して、府内全域の状況を含め21日開催の「第3回特殊詐欺集中対策本部会議」にて共有する。

【議題5 各部からの報告】

（市民部長）

防犯機能付電話機等購入補助事業の報告

申請状況は、9月25日（月）から申請受付開始し、申請件数は12月14日（木）午後5時30分現在で472件。

事業周知については、説明会を開催するとともに、介護予防講演会や100歳体操、血圧測定会など高齢者の集まる場をとらえて、周知活動を実施。また、吹田市社会福祉協議会と連携し、ふれあい昼食会やいきいきサロンに出向き、周知を実施中。

防犯機能付電話設置促進プロジェクトについては、今後の周知活動実施時には事業説明を行うとともに、別紙連絡票を用いて購入希望者情報を収集するものとする。

本部長指示事項

- 啓発は効果が見えにくい、日常的に目にするということは効果がある。各部は取組進捗一覧から他部の活動をヒントにしなが、この犯罪が収まるまで業務に無理のない範囲で何らかの取組を継続すること。
- 今までの集中的な取組・啓発で、特殊詐欺への注意喚起は順調に広がっていると思われる。今後は特殊詐欺への注意喚起のみならず、加えて防犯機能付き電話機の設置についても言及し、説明を希望する市民を募るなど、一歩踏み込んだ啓発を行うこと。

副本部長指示事項

- 各部の取組により、一定周知はされてはいるものの件数が明らかに減っている状況には至っていない。集中対策期間終了後も、各部が主体となり積極的に主催する会合等において周知・啓発していくこと。
- 吹田市の対策本部アクションプランは、「高齢者」「大学生」「金融機関」「コンビニ」を四本柱として取り組んできた。様々な報告から「大学生」「コンビニ」についての対策は一定進んでおり、今後は「高齢者」「金融機関」への取組強化という流れである。ついては、まず現状を知るために、各金融機関の対策内容について、一覧で見える化したものを作成し、対策の違いや温度差がわかるようにすること。

【第2回会議での本部長指示事項及び副本部長指示事項 進捗状況】

□・・・未完了 ■・・・着手から実施中 ※完了事項については掲載していません。

本部長指示事項

- 本市では、全市一丸となり特殊詐欺対策を短期集中的に取り組むことで、特殊詐欺犯が吹田では「やりにくい」という印象を持たせることも目的としている。そのため特殊詐欺に関する周知啓発は全庁的に発信をより強化し、戦略的・戦術的にターゲットを絞って行うこと。啓発効果をあげることに尽力し、特に、マスコミに取り上げてもらうための工夫を行うこと。
- 警察と密に連携し、特殊詐欺被害や通報・相談が多い地域のエリアや対象を絞って警戒・啓発を行うこと。

副本部長指示事項

- 年末にかけて被害が増える傾向にあるため、庁内の協力体制を強化していくこと。
- ATM 警戒・啓発にあたっては防災服と腕章を着用し、市民やマスコミへわかりやすく PR を行うこと。
- 広報については、市民や犯人側にどう見えるかを意識して、プラスαの取組を考えること。